

## 宮城県岩沼市と災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定締結式を開催しました (2013/7/12)

テーマ：包括的連携と相互の協力

会場：宮城県岩沼市役所

7月12日(金)、宮城県岩沼市役所において、宮城県岩沼市と東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定締結式が開催されました。岩沼市は、1日も早い生活再建や安全・安心なまちづくりと、岩沼市の個性・特性を活かした産業の再構築を目指し、そして、時代を先取りした先進的な復興モデルを実現するために、チーム岩沼・オール岩沼の体制で取り組んでいます。一方、災害科学国際研究所は、文系と理系の垣根を越え、減災に係る様々な研究と実践的な取組を推し進めています。同研究所からは、岩沼市震災復興会議やまちづくり検討委員会への委員・アドバイザーの参加、生活と健康に関する調査の実施、東部地域を対象とした津波避難訓練の指導と実施協力、「千年希望の丘」構想プロジェクトへの支援など、多くの構成員が岩沼市の防災・減災や復興に関する様々な取組に連携・協力してきました。

こうした互いの取組や連携がある中で、歴史を大切にしながら安全で安心して暮らすことができるまちづくりを効果的、そして実践的に進めていくことに関して、岩沼市と東北大学災害科学国際研究所との思いが一致したことから、今後、互いに連携して、これらを活発化させる礎とするよう、本協定の締結を行うことになりました。締結式には、井口経明 岩沼市長、平川新 災害科学国際研究所長の他、立会人として岩沼市から菊地啓夫 副市長をはじめ、影山一郎氏、大村孝氏、渡辺泰宏氏、佐藤裕和氏、安住智行氏、平井淳一郎氏、災害科学国際研究所から阿部昭 事務長、小野田泰明 教授、小野裕一 教授、栗山進一 教授、真野明 教授、佐藤健 教授、久利美和 講師、池田菜穂 助教、安倍祥 助手が出席しました。協定についての説明が行われた後、「国立大学法人東北大学災害科学国際研究所と宮城県岩沼市との連携と協力に関する協定書」に平川所長と井口市長が署名し協定が締結されました。

締結式後には、参加者全員により活発な意見交換が行われ、今後の課題などについて確認されました。



協定書に署名する平川所長(左)と井口市長



記念撮影



協定書締結式後での意見交換会

文責：池田菜穂（情報管理・社会連携部門）  
鈴木通江（情報管理・社会連携部門 広報担当）